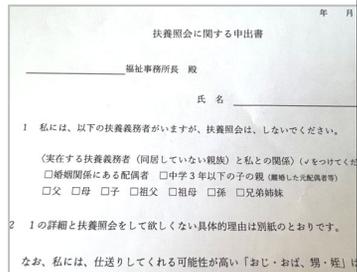


生活保護のしおり

見直しすべきと質問通告したら…

質問する前に「改定版」発行



生活保護申請の大きな壁となっているのが扶養照会です。申請時に扶養義務者を調べられることから申請そのものを躊躇する事態も。改善を求める声におされて厚労省は昨年2月・3月に大幅に改善する通知を各福祉事務所にしました。生活保護申請の際扶養義務照会は義務ではなく、拒否することも可能となったのです。

ところが甲賀市の「生活保護のしおり」は、平成31年版のままで、改善されていませんでした。山岡議員が質問通告を提出したら、実際に質問する前に「改定」されていました。

山岡議員は、機敏な対応で改定されたことを評価しながらも内容をみると、厚労省の改善通知の真意が生かされていない点が多いため、再度見直しよう求めました。健康福祉部長は、通知が生かされるよう表現を含めて見直しすることを約束しました。



甲南駅周辺整備事業 完工記念セレモニー



JR甲南駅周辺整備事業完工記念セレモニーが6月12日、駅前広場で盛大に行われました。北口周辺整備は今後も続きますが南口周辺整備がほぼ完了したことから、「甲南駅を育てる会」(田中庄吾会長)が主催して開かれたもの。記念碑の序幕式(写真)の後、甲南中学校吹奏楽部による演奏が花を添えました。

国の「学校図書館整備5カ年計画」位置づけ

「甲賀市子ども読書活動推進計画第三次計画」が拡充されました。拡充のポイントは、これ

まで山岡光広議員が議会でも三指摘してきた国の学校図書整備計画が、本計画にも位置

づけられたこと、目標値についてもその整合性をみて具体的に示されたことです。

「甲賀市子ども読書活動推進計画」拡充

山岡議員の指摘受け 改訂された計画概要

指標		国の目標(第5次)	国の目標(第6次)	国の目標(第6次)
		市の現状(R3)	市の現状(R4)	市の目標(R5)
学校図書館図書標準達成校の割合	小学校	国: 100%	国: 100%	国: 100%
		市: 42.8% ※21校中9校	市: 42.8% ※21校中9校	市: 52.4% ※21校中11校
	中学校	国: 100%	国: 100%	国: 100%
		市: 0% ※6校中0校	市: 0% ※6校中0校	市: 0% ※6校中0校
市の目標値設定		本市では、滋賀県立図書館が示す除籍基準を参考に、図書の除籍、廃棄を進めている。除籍、廃棄作業は現在進行中であり、今後も一部学校では一時的に充足率は下がる見通しである。図書充足率は、令和4年度当初で小学校平均97%、中学校平均70%である。中学校においては、令和5年度に充足率100%となる学校は見込めないが、学校図書予算の増額も含め、市平均に満たない蔵書数の学校に、より重点的に予算配分を行い、計画的に図書の充実に努めていく。		
学校司書の配置	小・中学校	国: 1.5校に1名 ※甲賀市に当てはめると27校に18名	国: 1.3校に1名 ※甲賀市に当てはめると27校に20名	国: 1.3校に1名 ※甲賀市に当てはめると27校に20名
		市: 27校に6人	市: 27校に7人	市: 27校に7人
市の目標値設定		学校図書館司書の配置の拡充に引き続き努めるとともに、学校図書館システムのリニューアルを通して、司書業務の効率化と充実を図る。		

学校図書館への新聞配備		国: 各校1紙	国: 各校2紙	国: 各校2紙
		小学校	市: 21校中3校	市: 21校中0校
中学校		国: 各校2紙	国: 各校3紙	国: 各校2紙
		市: 6校中0校	市: 6校中0校	市: 6校中1校
市の目標値設定		各校児童・生徒の学びに合わせながら、新聞やタブレット等を活用した学習を行うための環境を整えている。令和5年度は、現在1紙購読の小学校3校に各1紙、中学校1校に3紙を追加配備する。その上で、各校の活用状況等を検証し、次期計画に反映させる。		

これらに必要な財源については、地方交付税措置されています。地方交付税措置とは、使途を特定しない一般財源のこと。担当部局が学校図書館整備五カ年計画に基づいて、具体的な計画をしないと折角の財源措置が生かされません。山岡議員は、その点を指摘。市の「子ども読書活動推進計画」のなかに国の五カ年計画が位置づけられていないことが問題と指摘し、この間改善を求めました。

各学校の標準冊数についても実態をみて重点的に予算配分する、司書についてもこれまでは兼任して対応していることで100%配置としてきましたが、「国基準なら20名不足」と明確に示しました。

原発避難マッチング 早期に公開したい

若狭湾周辺で原発災害が起こった場合、長浜市民の避難先として甲賀市等が指定されています。山岡議員は、どの地域が甲賀市内のどこに避難するのか、いわゆるマッチングについて公開するよう求めました。市は「事務的には調整できているので、両市間で調整が整い次第、タイミングをあわせて、公開したい」と回答しました。

新名神甲南インター周辺での民間による工業団地造成計画

新名神甲南インター周辺で、民間事業者が工業団地造成の動きを示している問題で、山岡議員は「現状はどうか、対象地域は水源地でもあるので慎重な対応が必要ではないか」と質問。市は「相談を受けているが、現時点では具体的な内容について説明を受けていない」との回答でした。